

# 耐震ケーブルブレースの優位性

神鋼鋼線工業株式会社

## ■特徴

項目	内容
耐力	一般的なブレース材（SS400）の約5倍。
重量	一般的なブレース材（SS400）の約3割（端末金具込み）。
径	一般的なブレース材（SS400）の約4割。
弾性係数	一般的なブレース材（SS400）と同等。
施工期間	一般的なブレース材（SS400）の約4～6割。
価格	ケーブルを3面以上で配置→材工価格でメリット（足場を含むと拡大）。

## ■耐力、重量、径の比較

項目	降伏強度 (N/mm <sup>2</sup> )	使用引張強度 (N/mm <sup>2</sup> )	耐力比	重量比	径の比較
一般的なブレース材	235	235	1	1	1
ケーブル	1,515	1,288	5.5	1/5.5	1/2.3

※ケーブルの降伏強度：製品ラインナップ中、最も低い19本より28.6mmの値。

※ケーブルの使用引張強度：0.85×降伏強度（審査証明仕様）。

※重量比：同一長さ、同耐力の場合。

※径の比較：端末金具の径は、ケーブル径の約2.6倍。

※**ケーブル**（使用引張力）に対応する**一般的なブレース材**（短期許容耐力、SS400）

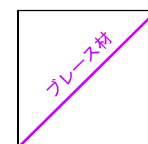
- 12.7mm：M27、FB-75×9、L-75×75×6
- 15.2mm：M33、FB-100×9、L-90×90×7
- 17.8mm：FB-90×16、L-90×90×10
- 19.3mm：L-90×90×13、2L-65×65×6
- 21.8mm：L-100×100×13、2L-75×75×6
- 28.6mm：2L-75×75×12

## ■施工期間の比較

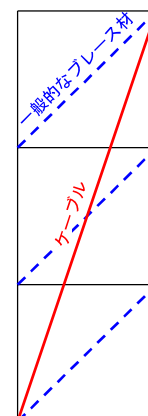
項目	配置面数	長さ比	数量比	施工期間
一般的なブレース材	1	1.0	1.00	1.00
ケーブル	1	1.0	1.00	0.60
	2	1.6	0.50	0.47
	3	2.2	0.33	0.45
	4	2.9	0.25	0.44
	5	3.6	0.20	0.43

※施工期間＝長さ比×数量比×係数

※係数：ケーブルは柔軟性を考慮し、0.6に設定。



配置面数1



配置面数3